

CONTENTS

Integrated Report 2022

mitsui kinzoku

「統合報告書2022」の発行にあたって

「統合報告書2022」では、新たな中期経営計画「22中計」を中心に、三井金属グループが価値創造プロセスに沿って、経営を通してどのように経済的価値を創造し、かつ社会的価値を生み出していくのかを具体的に記載しています。

当報告書の編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」、GRIのサステナビリティ・レポートニング・ガイドライン(スタンダード)を参照しています。

詳細な財務情報は有価証券報告書に、ガバナンス情報はコーポレート・ガバナンス報告書に記載しています。

[報告対象期間]

2021年度(2021年4月～2022年3月)の実績を中心に記載していますが、それ以前の取組み、2022年度の取組みを紹介した項目もあります。

[報告対象範囲]

当社三井金属、および国内と海外の連結子会社を対象としています。連結外のグループ会社を含む場合には、各項目において、具体的な対象範囲を注記しています。

[将来見通しに関する注意事項]

この報告書には三井金属とそのグループ企業の過去と現在の事実だけでなく、記述時点で入手できた情報に基づく判断・予定・予想が含まれています。そのため、将来の社会情勢や事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。

有価証券報告書

<https://www.mitsui-kinzoku.com/toushi/lib/youka/>

コーポレート・ガバナンス報告書

<https://www.mitsui-kinzoku.com/toushi/management/governance/>

当報告書では、SDGsアイコンを国連のSDGsガイドラインに従って使用しています。

<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

参照・引用文献

・両利きの経営

『世界標準の経営理論』入山章栄 著 ダイアモンド社

・プログラマティック M&A

『マッキンゼー ホッケースティック戦略ー成長戦略の策定と実行』クリス・ブラッドリー(著)、マーティン・ハート(著)、スヴェン・シュミット(著)、野崎 大輔(翻訳) 東洋経済新報社

04 三井金属のフィロソフィー

06 三井金属の事業のあゆみ

08 My commitment 代表取締役社長 納 武士

私たちの「パーパス」を、決めました。

私たち三井金属グループは何ができるのか、どんな価値を世の中に提供できるのか、そのことをステークホルダーの皆様へしっかりとお示ししたい。

14 私たち三井金属の価値創造プロセス

非鉄金属素材メーカーとして永年にわたり培ってきた技術と経験、築いてきたバリューチェーン。“マテリアルの知恵を活かす”こと、それこそが、私たちの「価値」を生み出す源です。

16 ステークホルダーとマテリアリティ

18 財務に対する考え方

20 財務ハイライト

22 事業ポートフォリオの動的管理

24 事業戦略 [事業創造本部]

26 事業戦略 [機能材料事業本部]

28 事業戦略 [金属事業本部]

30 事業戦略 [モビリティ事業本部]

32 価値創造の源泉となる資本

36 コーポレート・ガバナンス

44 社外監査役インタビュー

46 リスクマネジメント

47 人権の尊重

48 コンプライアンス

50 安全衛生

52 環境課題への取組み

60 サプライチェーン・マネジメント

62 鉱山事業

64 三井金属グループ
サステナビリティの取組み

70 11年間の主要な財務指標の推移

72 連結財務諸表

80 ESGデータ

88 会社情報・株式情報

89 第三者保証
